

リフォーム前後の写真



リフォーム前



1



2



3



4



5

総合部門

部門優秀賞

第20回 住まいのリフォームコンクール

FLIP 繋げる家

持家一戸建

総合

リフォームの動機/設計・施工にあたって工夫したこと

<設定> 築43年の木造在来構造の家8人(4世代、93歳から0歳)でそれぞれ違った生活をしながらも、一緒に暮らしている。今回玄関に最も近い建物の中心部を、従来の家の設計者である祖父(7年前に他界)の孫(本人)がリフォームの設計者することとなった。

<動機> ①既存のキッチンが1つの部屋として独立しているため、93歳の祖母が火をつけっぱなしにしてしまい危険。②玄関から中庭への展望を既存のキッチンが遮っているため、玄関に開放感がない。③祖母が転んだため、片目を失明してしまった。和室とダイニングの間の段差やその他細かい段差が危険。④部屋の特性が決まりすぎているため、柔軟な使い方ができない。

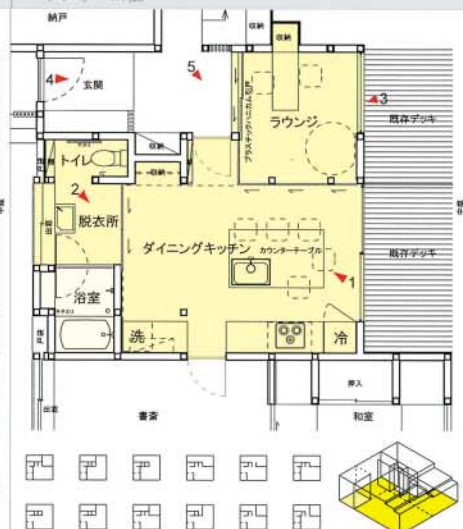
<設計のポイント> ①3つの大型引戸(床から天井まで)を使って空間を4分

割する。これらを吊式とし、開いた時は完全に壁と同化するように設計することで、さまざまな組合せ可能な柔軟な空間をつくる。(リフォーム後のプラン左下ダイアグラム参照)②既存外部の素材を内部に連続する。外部が白い吹付け(壁)と黒い木(窓枠やデッキ)で構成されていたため、内部も白と黒で構成する。特に既存デッキと新設引戸を同一素材にし、内外の意識を連続させ、開放感をつくる。③祖母の書斎の近くに火の元をもっていく、IHコンロを採用する事で安全性を高める。浴室の扉はガラスの両開きとし、車椅子でも浴槽の目の前まで行けるよう工夫する。使用する時に引戸で脱衣所を作り出す方法とガラス扉の採用により、風呂+脱衣所+トイレは、使わない時はリビングの一部のようになり、柔軟性と安全性を合わせもつこととなる。

リフォーム前



リフォーム後



通行の際はこの線が折って下さい

データ

所在地	東京都杉並区		
構造・築年数	在来木造	築後年数	43年
工事面積	該当面積 35 m ²	総工事床面積	35 m ²
居住者構成	8人(大人6人うち高齢者1人)/子供2人	ペット	
竣工時期	平成14年	9月	
設計・工事期間	実設計期間 30日間	施工期間	45日間
工事費	該当部分 650万円	総工事費	650万円
設計者	岩間航設計事務所		担当者名 岩間航
施工者	円建設(株)		担当者名 加藤正樹

総合部門